



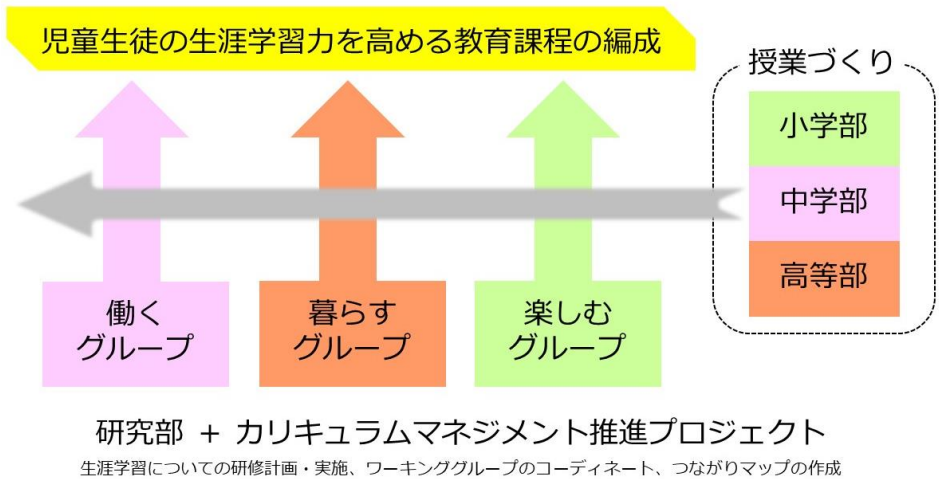
研究主題：児童生徒の「生涯学習力」を高める教育課程の編成（2年次／2年計画）

昨年度は基礎研究として、本校の児童生徒にとっての「生涯学習力」とは何かを、ワーキンググループによる調査・研究で明らかにしました。

今年度は「働く」「暮らす」「楽しむ」の新たな視点でワーキンググループによる研究を推進し、「生涯学習力」を高めるための教育課程の編成へとつなげていきます。

WGの予定（前期分）

第1回	4月16日
第2回	5月13日
第3回	6月17日
第4回	7月20日
第5回	8月28日
第6回	9月23日

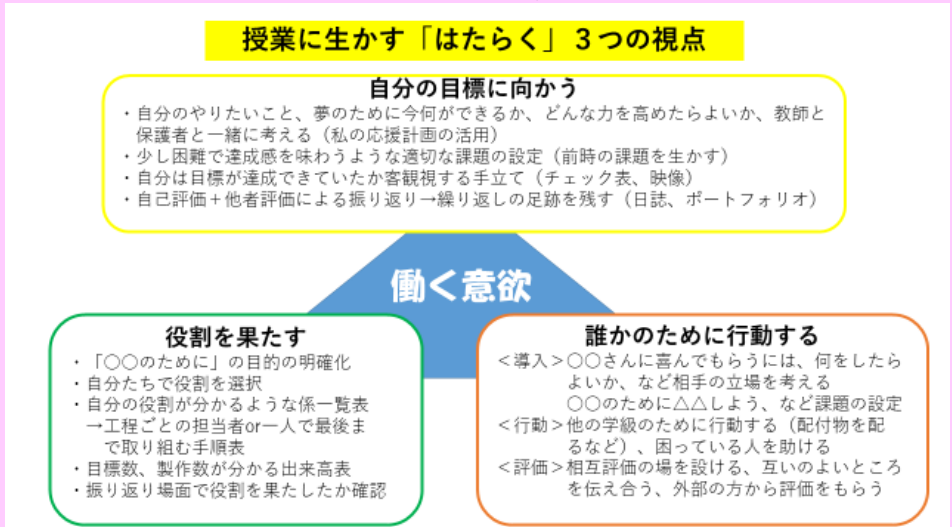


はたらくWG

【中学部 作業学習 の授業づくりと連携】

- ①子どもたちのどんな姿を「働く」と捉えるか、ワークショップで確認しました。
⇒「自分の目標に向かう」「役割を果たす」「誰かのために行動する」の3点を「働く」と捉える。
- ②上記「はたらく」3つの視点を基に、授業で気を付けたいことを考えました。
⇒具体的に授業に生かせるポイントを整理しました（下図）。これが「働く意欲」につながる。
- ③小・中・高の実践を「はたらく」観点で捉えたときの、「よい面」「課題点」を確認しました。
⇒「中高で作業学習に関する話し合いを設ける」など、「改善したい具体例」のアイデアを出した。

- 今後に向けて
- 7 / 17の全校授業研に向けての話し合い
→つながりミーティングのアイデア活用
 - つながりマップの情報収集
 - WG内での「関連」「制作」「整理」の役割分担→実践
 - 教育課程の改善策の検討



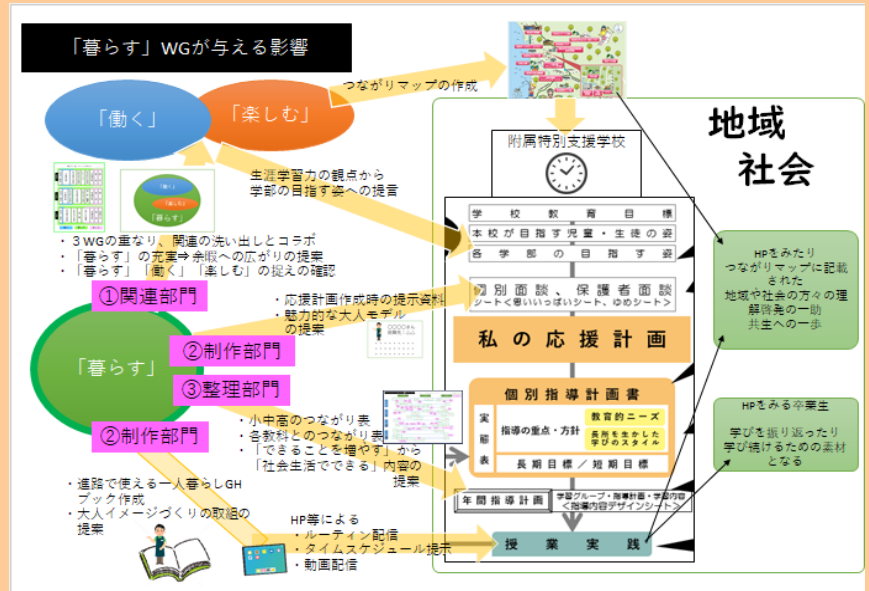
くらすWG

【高等部 Dスタディ の授業づくりと連携】

- ① 「くらす」に関わる各学部の指導内容等を出し合いました。⇒「くらす」の内容の中には、「衣」「食」「住」に加えて、その他として「人との関わり」などのまとまりが見られました。
- ② 「くらす」WGが実践できそうなことを出し合いました。⇒分類すると「内容の整理と学習の設定」「コンテンツ制作」「教材制作」「他のWGとの関連づくり」の4点がありました。
- ③ 「くらす」で出た実践事項と教育課程との関連 *右図

今後に向けて

- つながりマップの情報収集
- 「はたらく」「くらす」「たのしむ」の定義や捉え他WGの実践把握
- 一人暮らしを想定したストーリーの中での学習内容の提案



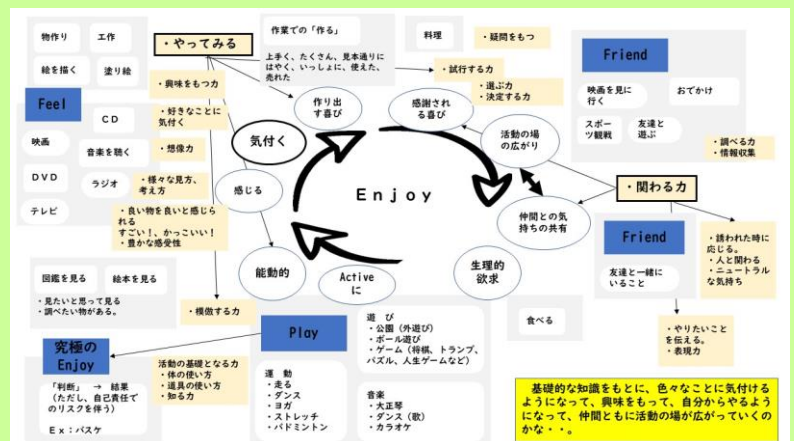
たのしむWG

【小学部 図画工作 の授業づくりと連携】

- ① 「楽しむ」という言葉の捉えの確認
ワーキンググループで「楽しむ」について話し合っていると、職員一人一人の「楽しむ」という言葉に対するイメージが違っていることが分かりました。今後の研究を進めるに当たって、「楽しむ」の何に着目しているのかを明確にする必要があると考えました。
⇒「楽しむ」には、「楽しい活動」と「楽しむ力」の二つの捉えがあることが分かりました。
- ② 職員アンケートの実施と今後のWGの取組の決定
「楽しむ」WGへのアンケートで出た意見を、必要度や即効性から分類、検討し、今後WGで取り組みたいことを考えました。また、その取り組みと教育課程との関連について確認しました。

今後に向けて

- 「楽しむ」という言葉の定義付け
- 「全校クラブ(仮)」の立ち上げ
- つながりマップの作成
- WGと小学部図画工作科との関連
動く楽しさ、暮らす楽しさにつなげる授業実践



「楽しむ」という言葉から連想されること(第1回WG)